

令和6年度 議会報告会
意見交換概要
テーマ 「よりよい地域にするためには」

令和6年11月12日(火) 開催

項目	要 旨
地域コミュニティ	地域の意見を吸い上げ、一緒にどうしていくんだという議論をしないと進まない。住民に1番近いのは市議会議員である。市にやってくださいではなく、議員が中心になって進めた方がより良いと思う
	老若男女問わず、子供から高齢者、障がい者、外国の方が集まれるサロンのようなフリースペースがあったらいい
	あいさつ運動よりも、日頃から地域の大人たちがしっかりとあいさつをしていかないといけない。市議会議員も一人一人がもう少しやってくれればいいと思う
	以前、回覧板で地域の防災に関するなりた知っ得出前講座の広報があり、希望を出したが、ほかの希望者は非常に少なかった。もっと地域で話すきっかけ作りができればと考えている
	地域のイベントにあわせて、スモールスタートで企画を進めていくのが効率的だが、地域のイベントが少ない
	まちを思う人の交流の場や企画ができる場があるとよい
買物支援	自分の住む地域ではスーパーの巡回が週1回だが、回数を増やしてほしいという声がある。市内全域を回るのは難しいことで予算もかかるが、そういったところでコミュニケーションがとれる方もいると思うので、ぜひいろんな地域に回ってもらえるように働きかけをお願いしたい
自治会	市は区長を通さないと市民の意見を聞く体制がないため、もう少し上手にやってほしい。前向きに行動している市民の声に聞く耳を持っても良いのではないか
	役員の仕事として区費を集めたり、行事があったら出なければいけないのがわずらわしいと、高齢者がみんな自治会をやめてしまう。市の姿勢が市民は自分の判断でやるから勝手にやめてもいいという姿勢だから、やめることを留めることはできない。何とかしないとコミュニティの崩壊が進んでしまうと思う

令和6年度 議会報告会
意見交換概要
テーマ 「よりよい地域にするためには」

令和6年11月12日(火) 開催

項目	要 旨
防災啓発	首都直下型地震はここ1、2年で言われている話ではないので、中長期に計画をしてやるべきではないのか。方針を示すならいいが、市の防災はみすぼらしい状況だと申し上げたい
	避難時のロードマップを作って欲しい
	電気や水道がどのくらいで復旧するという想定は、統計学の専門家に相談すればできると思う。起きてから考えるのでは遅いと思う
	防災対応の先進市は、東日本大震災の時に職員を1年、2年派遣しているので、成田市もある程度の期間の派遣を行うべきである
	南海トラフ巨大地震の発生に付随して富士山の噴火が懸念されているが、火山灰が降り積もった際の対応策を示してほしい
学校設備	小学校は避難所にもなっているが、和式トイレが多い。洋式トイレを多く入れてほしい
公民館	中央公民館のロビーのようなスペースがあると、学生が勉強したり、お年寄り達も話をしたりできると思う。各地区の公民館をもっと利用しやすいようにできないか考えてほしい
	公民館の利用状況は比較的空きがあるようである。公民館が主体となっていていろいろな催し物をしていかないと、市民がなかなか行かないと思う
空き家	空き家を有効活用して、高齢者の集まれる場を作してほしい